

タイ語科

タイはメコン経済圏のほぼ中央にある、圏内で唯一の自由民主主義国家です。日本とは昔から貿易や様々な分野での文化交流が盛んに行われてきましたが、現在でも観光や企業進出等による交流が活発に行われています。近年タイでは日本の人気も高く、たくさんの観光客が日本を訪れています。こうした中、タイ語需要はこれからも継続的に存在するものと考えられます。

タイ語は表音文字で、子音と母音に声調符号を加えて1つの単語が成り立っています。平声には符号を付けませんが、他の4つの音には4種類の声調符号があり、声調を変えることで意味も違ってきます。母音字は末子音等によって形が変化します。文字の読み書きができるまでに様々な規則を覚えなければなりません。タイ文字を読めない間は、アルファベットに似た発音記号で会話を勉強することになります。この発音記号は中国語のピンインとは異なり、一般的なものではありませんが、タイ語を効率よく学習するうえで一時的、補助的に活用されています。タイ文字を早く習得して、発音記号がなくても学習できるように頑張りましょう。タイ語講座では、主に文字・読解・文法と、会話・発音・文法という分け方で開講しています。どの講座も段階的な学習により、着実にタイ語を習得できるようになっていますので、是非楽しみながら挑戦していただきたいと思っています。

今学期、タイ語科では8つの講座を開講していますが、受講生は自分のレベルと目的に合わせて自由に講座を選択できます。入門講座、初級講座、中級講座にはそれぞれに読み書きと文法を中心とした文字・読解・文法講座と、発音や会話を中心とした会話・発音・文法講座があり、目的別学習により、効率的にタイ語を習得できます。上級講座は、タイに関する習慣や文化等を通して、読解と文法を学習する講座となります。また学習効果の観点からは、複数の講座を同時に受講することが望ましく、お時間のある方には週2回以上の受講をお勧めしています。さらに同じ講座を納得するまで繰り返し受講することもできます。各級の受講条件、対象レベル、達成目標および講座内容については慶應外語ウェブサイトのレベル目安や各講座の詳細ページにてご確認ください。

<https://www.fl.s.keio.ac.jp/>

どのような勉強が効果的か、辞書や参考書にはない単語や表現について調べたい、タイの習慣等について知りたい等、疑問や質問をお持ちの方は是非講師陣に質問してください。日本語堪能なネイティブスピーカーの講師がテキストの内容だけでなく、そうした疑問や質問にも喜んでお答えいたします。普段なかなかタイ語を使う機会がない方でも一緒に勉強する仲間がいることで、学習効果は高まります。また、受講後の復習も上達のポイントです。各講師がそれぞれしっかりと責任をもって指導に当たりますので、きっと学習のお役に立てると思います。

2025年度春学期もオンラインの開講となります。場所を選ばずにどこからでも学習できますので、仕事や就職、転職等に役立てていただきたいと思っておりますし、字幕なしでタイ語ドラマを見るといったことに挑戦されるのも良いと思っております。新しい日常が始まり、観光やビジネス等での往来が活気を取り戻しつつある中、タイ語を勉強してみたいはいかがでしょうか。